

2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）



2023年2月8日

上場会社名 株式会社SUBARU 上場取引所 東
 コード番号 7270 URL <https://www.subaru.co.jp/ir/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）中村 知美
 問合せ先責任者（役職名）執行役員IR部長（氏名）永江 靖志（TEL）03-6447-8825
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期 第3四半期	2,807,984	39.9	213,692	176.9	215,122	135.8	153,554	143.5	154,419	145.6	195,577	92.4
2022年3月期 第3四半期	2,007,514	△3.2	77,186	△21.4	91,250	△13.7	63,070	△15.8	62,868	△15.3	101,639	91.3
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2023年3月期第3四半期	201.34				201.34							
2022年3月期第3四半期	81.98				—							

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,847,504	2,045,939	2,036,639	52.9
2022年3月期	3,543,753	1,901,019	1,890,789	53.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2023年3月期	—	38.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	38.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700,000	34.8	300,000	231.7	300,000	180.4	210,000	200.0	273.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) Subaru USA Holdings Inc.

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	769,175,873株	2022年3月期	769,175,873株
2023年3月期3Q	2,193,383株	2022年3月期	2,248,102株
2023年3月期3Q	766,955,078株	2022年3月期3Q	766,906,380株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
要約四半期連結損益計算書	7
要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上収益は、為替変動による増収効果、自動車売上台数の増加、価格政策及び売上構成の改善等により、2兆8,080億円と前年同期比8,005億円(39.9%)の増収となりました。

利益面についても、継続的な原材料価格の高騰及び諸経費等の増加があったものの、売上収益の増加により、営業利益は2,137億円と前年同期比1,365億円(176.9%)の増益、税引前四半期利益は2,151億円と前年同期比1,239億円(135.8%)の増益となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益も1,544億円と前年同期比916億円(145.6%)の増益となりました。

(単位 金額：百万円、比率：%)

	売上収益	営業利益 (利益率)	税引前 四半期利益 (利益率)	親会社の所有者 に帰属する 四半期利益 (利益率)	為替レート
2023年3月期第3四半期	2,807,984	213,692 (7.6)	215,122 (7.7)	154,419 (5.5)	136円/米ドル 141円/ユーロ
2022年3月期第3四半期	2,007,514	77,186 (3.8)	91,250 (4.5)	62,868 (3.1)	111円/米ドル 131円/ユーロ
増減	800,470	136,506	123,872	91,551	
増減率	39.9	176.9	135.8	145.6	

[セグメントの状況]

当第3四半期連結累計期間のセグメントの状況は以下のとおりです。

(単位 金額：百万円、比率：%)

	売上収益				セグメント利益			
	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減	増減率	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減	増減率
自動車	1,957,335	2,750,316	792,981	40.5	75,009	211,462	136,453	181.9
航空宇宙	46,616	53,995	7,379	15.8	△2,481	△2,508	△27	—
その他	3,563	3,673	110	3.1	4,555	4,749	194	4.3
調整額	—	—	—	—	103	△11	△114	—
合計	2,007,514	2,807,984	800,470	39.9	77,186	213,692	136,506	176.9

(注) 1. 売上収益は、外部顧客への売上収益です。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

① 自動車事業部門

半導体の供給不足等による生産制約のリスクは依然として残るものの、柔軟に生産計画を調整するなど影響の最小化に努めたことにより、当第3四半期連結累計期間における生産台数は前年同期比12.2万台(22.2%)の増加となりました。

売上台数は、重点市場である米国及び国内を中心に堅調に推移し、海外の売上台数は55.9万台と前年同期比7.7万台(16.0%)の増加、国内の売上台数は7.6万台と前年同期比1.0万台(15.8%)の増加となりました。その結果、海外と国内の売上台数の合計は63.5万台と前年同期比8.8万台(16.0%)の増加となりました。引き続き米国を中心にSUBARU車の需要は強く、店頭在庫の状況は低水準が続いています。

売上収益は、前述のとおり為替変動や自動車売上台数の増加、価格政策及び売上構成の改善等により、2兆7,503億円と前年同期比7,930億円(40.5%)の増収となりました。またセグメント利益は、継続的な原材料価格の高騰及び諸経費等の増加があったものの、売上収益の増加により、2,115億円と前年同期比1,365億円(181.9%)の増益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の地域別の売上台数は以下のとおりです。

(単位 台数：万台、比率：%)

	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減	増減率
国内合計	6.6	7.6	1.0	15.8
登録車	5.4	6.2	0.8	15.7
軽自動車	1.2	1.4	0.2	16.0
海外合計	48.2	55.9	7.7	16.0
北米	41.1	47.0	6.0	14.5
欧州	1.2	1.5	0.3	26.8
豪州	2.7	3.4	0.7	26.1
中国	1.1	0.8	△0.3	△23.5
その他地域	2.2	3.2	1.0	46.9
総合計	54.8	63.5	8.8	16.0

② 航空宇宙事業部門

民間向けの「ボーイング787」の引き渡しが増加したものの、防衛省向けの哨戒機「P-1」及び輸送機「C-2」の生産が増加したこと等により、売上収益は540億円と前年同期比74億円（15.8%）の増収となりました。セグメント損失は、前年同期並の25億円となりました。

③ その他事業部門

売上収益は37億円と前年同期比1億円（3.1%）の増収となりました。セグメント利益は、47億円と前年同期比2億円（4.3%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産は、3兆8,475億円と前期末に比べ3,038億円の増加となりました。主な要因は、米国の販売子会社における新車在庫の増加等により「棚卸資産」が906億円増加したこと、為替の影響等により「現金及び現金同等物」が768億円増加したこと、為替の影響等により「その他の金融資産（流動）」が682億円増加したこと等です。

② 負債の状況

負債は、1兆8,016億円と前期末に比べ1,588億円の増加となりました。主な要因は、買掛金の増加等により「営業債務及びその他の債務」が541億円増加したこと、為替の影響等により「その他の非流動負債」が372億円増加したこと、為替の影響及び前受金の増加等により「その他の流動負債」が359億円増加したこと等です。

③ 資本の状況

資本は、2兆459億円と前期末に比べ1,449億円の増加となりました。主な要因は、四半期利益の計上及び配当金の支払いにより「利益剰余金」が1,035億円増加したこと、為替換算調整勘定の増加等により「その他の資本の構成要素」が421億円増加したこと等です。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、9,599億円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、3,257億円（前年同四半期連結累計期間は859億円の増加）となりました。主な要因は、税引前四半期利益2,151億円、減価償却費及び償却費1,764億円、棚卸資産の増加753億円、営業債務及びその他の債務の増加610億円等です。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は、2,018億円（前年同四半期連結累計期間は1,269億円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出（売却による収入との純額）910億円、無形資産の取得及び内部開発に関わる支出452億円等です。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は、942億円（前年同四半期連結累計期間は746億円の減少）となりました。主な要因は、親会社の所有者への配当金の支払額505億円、リース負債の返済による支出365億円等です。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

半導体の供給不足等による生産制約が継続する状況を踏まえ、生産台数は9.0万台減少の88.0万台（前期比21.1%の増加）及び売上台数は5.0万台減少の87.0万台（前期比18.5%の増加）を見込み、2022年11月2日に公表した2023年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。なお、通期の連結業績予想数値の前提となる為替レートは1米ドル134円（前回公表133円）、1ユーロ140円（前回公表136円）といたします。

2023年3月期通期連結業績予想数値（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,800,000	300,000	300,000	210,000	273.81
今回発表予想(B)	3,700,000	300,000	300,000	210,000	273.81
増減額(B-A)	△100,000	0	0	0	—
増減率(%)	△2.6	0.0	0.0	0.0	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	2,744,520	90,452	106,972	70,007	91.28

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	883,074	959,907
営業債権及びその他の債権	337,387	349,891
棚卸資産	483,113	573,667
未収法人所得税	18,331	17,211
その他の金融資産	243,204	311,432
その他の流動資産	77,134	99,428
小計	2,042,243	2,311,536
売却目的で保有する資産	—	158
流動資産合計	2,042,243	2,311,694
非流動資産		
有形固定資産	841,553	837,287
無形資産及びのれん	250,897	247,397
投資不動産	21,942	21,663
持分法で会計処理されている投資	10,828	9,384
その他の金融資産	124,574	109,824
その他の非流動資産	161,167	184,298
繰延税金資産	90,549	125,957
非流動資産合計	1,501,510	1,535,810
資産合計	3,543,753	3,847,504

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	273,546	327,646
資金調達に係る債務	51,645	72,692
その他の金融負債	69,624	58,673
未払法人所得税	4,685	65,581
引当金	143,217	128,623
その他の流動負債	309,538	345,467
流動負債合計	852,255	998,682
非流動負債		
資金調達に係る債務	282,400	254,095
その他の金融負債	81,848	93,042
従業員給付	58,196	63,660
引当金	95,448	86,731
その他の非流動負債	267,530	304,767
繰延税金負債	5,057	588
非流動負債合計	790,479	802,883
負債合計	1,642,734	1,801,565
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,178	160,178
自己株式	△6,324	△6,135
利益剰余金	1,466,322	1,569,864
その他の資本の構成要素	116,818	158,937
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,890,789	2,036,639
非支配持分	10,230	9,300
資本合計	1,901,019	2,045,939
負債及び資本合計	3,543,753	3,847,504

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	2,007,514	2,807,984
売上原価	△1,626,818	△2,255,878
売上総利益	380,696	552,106
販売費及び一般管理費	△219,360	△250,301
研究開発費	△77,703	△79,674
その他の収益	3,321	3,961
その他の費用	△9,890	△11,894
持分法による投資損益	122	△506
営業利益	77,186	213,692
金融収益	16,688	43,188
金融費用	△2,624	△41,758
税引前四半期利益	91,250	215,122
法人所得税費用	△28,180	△61,568
四半期利益	63,070	153,554
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	62,868	154,419
非支配持分	202	△865
四半期利益	63,070	153,554
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	81.98	201.34
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	201.34

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	63,070	153,554
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△124	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	14,692	△13,862
持分法適用会社のその他の包括利益に対する持分	—	△830
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	25,071	58,123
その他の包括利益を通じて測定する負債性金融商品の公正価値の純変動額	△1,208	△1,769
持分法適用会社のその他の包括利益に対する持分	138	361
その他の包括利益(税引後)合計	38,569	42,023
四半期包括利益	101,639	195,577
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	100,954	196,507
非支配持分	685	△930
四半期包括利益	101,639	195,577

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素			
期首残高	153,795	160,178	△6,524	1,435,291	34,995	1,777,735	8,648	1,786,383
四半期包括利益								
四半期利益	—	—	—	62,868	—	62,868	202	63,070
その他の包括利益 (税引後)	—	—	—	—	38,086	38,086	483	38,569
四半期包括利益合計	—	—	—	62,868	38,086	100,954	685	101,639
利益剰余金への振替	—	—	—	55	△55	—	—	—
所有者との取引等								
剰余金の配当	—	—	—	△42,969	—	△42,969	—	△42,969
自己株式の取得	—	—	△4	—	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	△72	208	—	—	136	—	136
利益剰余金から資本剰余 金への振替	—	72	—	△72	—	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引等合計	—	—	204	△43,041	—	△42,837	—	△42,837
期末残高	153,795	160,178	△6,320	1,455,173	73,026	1,835,852	9,333	1,845,185

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素			
期首残高	153,795	160,178	△6,324	1,466,322	116,818	1,890,789	10,230	1,901,019
四半期包括利益								
四半期利益	—	—	—	154,419	—	154,419	△865	153,554
その他の包括利益 (税引後)	—	—	—	—	42,088	42,088	△65	42,023
四半期包括利益合計	—	—	—	154,419	42,088	196,507	△930	195,577
利益剰余金への振替	—	—	—	△31	31	—	—	—
所有者との取引等								
剰余金の配当	—	—	—	△50,646	—	△50,646	—	△50,646
自己株式の取得	—	—	△3	—	—	△3	—	△3
自己株式の処分	—	△55	192	—	—	137	—	137
利益剰余金から資本剰余 金への振替	—	55	—	△55	—	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	△145	—	△145	—	△145
所有者との取引等合計	—	—	189	△50,846	—	△50,657	—	△50,657
期末残高	153,795	160,178	△6,135	1,569,864	158,937	2,036,639	9,300	2,045,939

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	91,250	215,122
減価償却費及び償却費	168,164	176,432
持分法による投資損益(△は益)	△122	506
金融収益	△16,688	△43,188
金融費用	2,624	41,758
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	12,528	△9,160
棚卸資産の増減額(△は増加)	△42,883	△75,324
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△7,941	61,038
引当金及び従業員給付に係る負債の増減額(△は減少)	△75,718	△19,720
その他	△27,098	△6,563
小計	104,116	340,901
利息の受取額	2,789	12,012
配当金の受取額	2,986	3,807
利息の支払額	△1,652	△1,817
法人所得税の支払額	△22,295	△29,230
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,944	325,673
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△3,565	△30,808
有形固定資産の取得による支出	△79,651	△94,587
有形固定資産の売却による収入	423	3,635
無形資産の取得及び内部開発に関わる支出	△57,629	△45,191
その他の金融資産の取得による支出	△157,189	△252,129
その他の金融資産の売却または回収による収入	171,538	218,487
その他	△843	△1,176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126,916	△201,769
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200	△300
長期借入金の返済による支出	△14,870	△9,957
長期借入れによる収入	16,000	3,000
社債の発行による収入	10,000	—
リース負債の返済による支出	△42,622	△36,468
親会社の所有者への配当金の支払額	△42,832	△50,495
その他	△50	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,574	△94,224
現金及び現金同等物の為替変動の影響額	22,793	47,153
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△92,753	76,833
現金及び現金同等物の期首残高	907,326	883,074
現金及び現金同等物の四半期末残高	814,573	959,907

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメントごとの売上収益、利益又は損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間における当社及び連結子会社の事業の種類別セグメント情報は、以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

					(単位:百万円)	
	自動車	航空宇宙	計	その他	消去 又は全社	要約四半期 連結損益 計算書
売上収益						
(1) 外部顧客	1,957,335	46,616	2,003,951	3,563	—	2,007,514
(2) セグメント間	1,796	2	1,798	23,436	△25,234	—
計	1,959,131	46,618	2,005,749	26,999	△25,234	2,007,514
持分法による投資損益	326	—	326	△204	—	122
営業利益(△損失)	75,009	△2,481	72,528	4,555	103	77,186
金融収益						16,688
金融費用						△2,624
税引前四半期利益						91,250

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

					(単位:百万円)	
	自動車	航空宇宙	計	その他	消去 又は全社	要約四半期 連結損益 計算書
売上収益						
(1) 外部顧客	2,750,316	53,995	2,804,311	3,673	—	2,807,984
(2) セグメント間	2,046	—	2,046	24,443	△26,489	—
計	2,752,362	53,995	2,806,357	28,116	△26,489	2,807,984
持分法による投資損益	668	—	668	△1,174	—	△506
営業利益(△損失)	211,462	△2,508	208,954	4,749	△11	213,692
金融収益						43,188
金融費用						△41,758
税引前四半期利益						215,122

(注) 各セグメントの営業利益(△損失)の算出方法は、要約四半期連結損益計算書における営業利益(△損失)の算出方法と一致しており、金融収益、金融費用、法人所得税費用を含んでいません。また、各セグメントに直接賦課できない営業費用は、最も合理的な配賦基準に基づいて、各セグメントに配賦しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2023年2月8日

2023年3月期 第3四半期連結業績の概要

<2023年3月期 第3四半期累計業績:連結売上収益>

全世界生産台数は、半導体を中心とした部品供給課題が継続する中、柔軟に生産計画を調整するなど影響の最小化に努め、前年同期比 22.2%増の 671 千台となりました。
国内生産は同 30.7%増の 457 千台、海外生産は同 7.4%増の 214 千台となりました。

これを受け、全世界販売台数は、重点市場である米国や国内を中心に堅調に推移し、同 16.0%増の 635 千台となりました。

連結売上収益は、為替変動による増収効果および販売台数の増加などにより、同 39.9%増の 2 兆 8,080 億円となりました。

<2023年3月期 第3四半期累計業績:連結損益>

連結損益については、継続する原材料価格の高騰および諸経費等の増加があったものの、為替変動による増収効果および販売台数の増加などにより、営業利益は前年同期比 1,365 億円増加の 2,137 億円、税引前利益は同 1,239 億円増加の 2,151 億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同 916 億円増加の 1,544 億円となりました。

<2023年3月期 通期連結業績見通し>

半導体供給課題による生産制約が継続する状況を踏まえ、前回*(2022年11月2日)発表値に対して、全世界生産台数は90千台減少の880千台(前期比21.1%増)、全世界販売台数は50千台減少の870千台(同18.5%増)、売上収益は1,000億円減少の3兆7,000億円(同34.8%増)に修正します。一方、製造から販売まで含めたバリューチェーン全体の効率化や各種費用の精査を推し進めるとともに、想定為替レートの見直しなどを織り込み、各段階利益(営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益)は、前回発表値から変更ありません。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥134/US\$、¥140/EUROです。

*前回公表の通期連結業績見通し

営業利益 3,000 億円、税引前利益 3,000 億円、親会社の所有者に帰属する当期利益 2,100 億円
想定為替レート ¥133/US\$、¥136/EURO

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



< 2023年3月期 第3四半期連結決算 参考資料 >

金額：億円、台数：千台、比率：%

	前期実績 2022年3月期 第3四半期累計期間 (2021. 4. 1-2021. 12. 31)		当期実績 2023年3月期 第3四半期累計期間 (2022. 4. 1 — 2022. 12. 31)		前期実績 2022年3月期 通期 (2021. 4. 1-2022. 3. 31)		当期予想 2023年3月期 通期 (2022. 4. 1 — 2023. 3. 31)			前回当期予想 2023年3月期 通期 (2022. 4. 1-2023. 3. 31)		
			増減	増減率			増減	増減率				
売上収益	20,075	28,080	8,005	39.9	27,445	37,000	9,555	34.8	38,000			
日本	3,457	4,318	861	24.9	4,880	-	-	-	-			
海外	16,618	23,762	7,144	43.0	22,565	-	-	-	-			
営業利益	772	2,137	1,365	176.9	905	3,000	2,095	231.7	3,000			
利益率	3.8	7.6			3.3	8.1			7.9			
税引前利益*1	913	2,151	1,239	135.8	1,070	3,000	1,930	180.4	3,000			
利益率	4.5	7.7			3.9	8.1			7.9			
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	629	1,544	916	145.6	700	2,100	1,400	200.0	2,100			
利益率	3.1	5.5			2.6	5.7			5.5			
営業利益増減要因			為替レート差	1,661			為替レート差	2,435				
売上構成差等			1,300	売上構成差等			1,695					
			原価影響	-944			原価影響	-1,237				
			諸経費等	-614			諸経費等	-640				
			研究開発費	-19			研究開発費	-102				
			その他	-19			その他	-56				
為替レート	111円/US\$ 131円/EURO	136円/US\$ 141円/EURO			112円/US\$ 130円/EURO	134円/US\$ 140円/EURO			133円/US\$ 136円/EURO			
設備投資	506	767			861	1,300					1,400	
減価償却費	699	759			946	1,000					1,000	
研究開発支出*2	869	759			1,138	1,100					1,200	
有利子負債残高	3,449	3,268			3,340	-					-	
業績評価			・3期振りの増収 ・7期振りの各利益増益 ・3期振りの連結販売台数増				・3期振りの増収 ・3期振りの各利益増益 ・3期振りの連結販売台数増					
日本販売台数合計	66	76	10	15.8	89	106	16	18.2	115			
登録車	54	62	8	15.7	73	87	14	19.4	95			
軽自動車	12	14	2	16.0	17	19	2	13.1	20			
海外販売台数合計	482	559	77	16.0	645	764	120	18.6	805			
北米	411	470	60	14.5	555	643	87	15.7	681			
欧州	12	15	3	26.8	15	-	-	-	-			
中国	11	8	-3	-23.5	14	11	-3	-20.3	14			
その他	49	66	17	35.5	60	-	-	-	-			
連結販売台数総計	548	635	88	16.0	734	870	136	18.5	920			
生産台数合計	549	671	122	22.2	727	880	153	21.1	970			
日本	350	457	107	30.7	455	-	-	-	-			
米国	199	214	15	7.4	272	-	-	-	-			
売上収益 事業別	自動車 19,573	27,503	7,930	40.5	26,775	36,167	9,393	35.1	37,135			
航空宇宙	466	540	74	15.8	623	784	161	25.9	819			
その他	36	37	1	3.1	48	48	1	1.7	47			
営業利益 事業別	自動車 750	2,115	1,365	181.9	925	2,951	2,026	218.9	2,951			
航空宇宙	-25	-25	-0	1.1	-70	2	72	-	2			
その他	46	47	2	4.3	48	47	-1	-2.6	47			
消去・全社	1	-0	-1	-110.7	1	-	-	-	-			

*1. 第3四半期累計期間について、財務諸表上は「税引前四半期利益」として記載

*2. 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額。IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なる。

注1. 連結販売台数は、国内連結対象販売社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対するSUBARUの出荷などの合計値。

注2. 日本生産台数にはトヨタ向けGR86の台数を含む。

注3. 2023年3月期 第1四半期連結決算より、欧州地域の定義を見直し（過年度実績含む）

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。